

# 宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポート⑥ 私塾ネット 出前寺子屋「漢検合格講座」



## 出前寺子屋 in 石巻「漢検合格講座」の仕組み

活動期間：2011年8月16日～2012年2月4日

- ①説明会&級位判定もぎテスト  
定員に達したため12月まで一般公募は締切。
- ②スクーリング  
9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、  
12月11日、25日（いずれも14:00～16:00）  
2012年1月以降も継続実施。検定教材を自宅学習し、スクーリングで進  
度チェックと確認テストを実施。小中高生徒には学習指導も同時実施。
- ③漢検受検  
第2回検定11月5日、第3回検定2012年2月4日。
- ④受講対象者  
仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民。
- ⑤受講者特典  
・教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料。

## 第1期講習生11月検定18名受検。

受検者内訳：2級2名、準2級2名、3級9名、  
4級3名、6級1名、7級1名 全員合格を祈念

### ◆活動報告その⑥[2011年11月5日]

上野発7時50分、いつもより1電車早い東北新幹線の「やまびこ」仙  
台往きに乗る。私、谷村和枝に仙台までは同行者がただ一人、AIM講  
師の小川大輔だけである。大きな荷物2つを2人で手分けし、ガラガラと  
引いていく。心もとなさが頭をかすめる。いつも同行する谷村志厚塾長  
は、自塾での検定実施のため松戸に居残りである。仙台駅で東北大学  
準教授の村山氏(元AIM講師)が合流し、東北本線松島駅にて石巻での  
協力者木伏氏の車に乗る。これで本日のスタッフ4人が揃った。

私にとっては9回目となる石巻、  
今回は同行に初参加者がいない  
ので、一気に被災地の門脇地区  
に向かう。門脇小学校に近づくと、  
人と車の行き来がえらく多い。ダ  
ライ・ラマがつい先程まで同小に  
いた、と校庭から校舎を見上げて  
いる人が教えてくれた。



いまや東日本大震災の石巻の記念碑的  
存在の門脇小学校。この日はダライ・ラ  
マが視察に訪れていた。

我々4人は校舎に向かう。「立ち  
入り禁止」の札が下がった紐が校  
舎に括りつけてあるが、間近に近  
づくことができる。津波で窓ガラス  
の大半が割れているので、教室  
内の惨状が隠れることなく目に  
飛び込んでくる。息をのむ教室  
内の光景が続いていく。少し落  
ち着いてきて、校舎全体を見て  
いくと、右側が皆黒く焼けこげ  
ていることが分かる。左の端  
の教室は、津波による散乱状態  
のすごさはあるが、燃えた跡  
はない。校庭に駐車してあ  
った車が校舎の右はじにぶつ  
かり、火を出し、ここから燃え  
広がったのかもしれないと推測  
できた。そして、2階の教室は  
燃えた跡があまりないのに、3  
階は各教室が全焼である。校  
舎が一様に燃えたのではな  
かった。



昇降口は3月の被害時そのままの様相  
である。手前には赤いランドセル  
や青い手提げカバンも残されたま  
まだ。

この状況の中、3月11日、同小  
にいた児童は全員が怪我一つ  
せず、すぐ裏手の日和山へ逃  
げきったのである。「走れ上  
へ、走れ」と教師に掛け声  
をかけられて、本日6級の漢  
字検定試験を受けるK君も逃  
げきったのである。

その後、大きな途切れもなく、  
門脇小は他の被災小中学校と同  
様に、被害の少なかった学校に  
間借りをしながら、教育機能  
を維持していくのである。児  
童の生活基盤の避難所が二次  
避難をして蔵王温泉に移転す  
れば、同小も廃校となった蔵  
王温泉内の分校で教室を再開  
し、学校

教育を継続したのであった。この一連の流れを目にし、耳にした時、支  
援者の側に立つ我々は、現場の教師の気概を忘れてはならない、そ  
んな思いを新たに、門脇小を出て開成仮設団地に向かった。

開成仮設第11団地のいつもの北集会所に2時20分前になると、受  
講者が集まりはじめる。本日の受験者の席から人が埋まりはじめる。席に着  
くと、大半の人が最後の  
の見直し、とばかりに  
テキストを広げる。こ  
うして2時2分前には18  
名の受験者、6名の学  
習者の全員がそろっ  
た。



検定風景。テーブルがそろっていないため、小さな座卓  
を使った受験を余儀なくされた受験生もいた。そんなハ  
ンディキャップにもひとこと不満も出ない。

午後2時丁度、講座  
の今後のスケジュール  
と合否結果の通知  
法等を私が説明し  
た。このスケジュール  
は村山先生が先程、  
手早く、的確に書い  
てくれたものであ  
った。この後、小川  
先生が大きな声でハ  
ッキリと答案用紙の  
記入法を説明し、2  
時14分に試験が  
開始された。会場に  
時計がない為、「残  
り30分です」、「  
残り10分です」、「  
後5分です」と肉  
声アナウンスが入  
り、3時14分に  
試験は終了した。



こちらは、座卓テーブルをゆったりと使っ  
ての非受験の学習グループ。東北大の  
村山先生が指導を担当した。

この後、村山先生による「今年  
の漢字」とアンケートにつ  
いての説明があり、受  
講生が快く記入してく  
れ、用紙が回収され  
た。こうして本日  
の全てが終了した。  
帰り際、小学生は  
お菓子を、中学生  
は文房具を、そ  
して全員が集  
会所内で写  
っている自  
分の写  
真を受  
け取り、少  
しばかり  
の疲労感  
を漂わせ  
ながら受  
講生は  
会場を  
出て行  
った。木  
伏、村  
山、小  
川、そ  
して私  
、本日  
は最強  
の布陣  
であ  
った  
との  
思い  
を胸  
に、我  
々も  
家路  
につ  
いた。  
次回  
(11/20)  
は本  
日の  
自己  
採点  
と学  
習の  
2本  
立て  
で臨  
むこ  
とな  
って  
いる。

2011年11月5日 AIM学習セミナー 谷村和枝

主催：全日本私塾教育ネットワーク（略称・私塾ネット）